

令和5年度香川公民館事業報告

資料1

【公民館主催(共催含む)】

R6.3.26時点

カテゴリー	事業名	概要	講師	実施日時	手法	対象	定員	参加者	成果・課題
1 子ども事業	1 夏のおはなし会	幼児、小学生向けおはなし会。	ストーリーテリングサークルおはなしのたまご	①7月27日(木) ②8月3日(木)	対面	①2歳～未就園児②園児～小学生	①10組 ②15人	①6組 ②12人	全体的に楽しめたという回答多かったが、手遊びやわらべうたの種類が多すぎたため、次回以降動画配信等の検討も必要。
	2 パステルアート	誰もが楽しめ、絵心がなくても思い通りに描くことができる。基本の描き方から応用まで、パステルならではの表現と技法を紹介。	香川公民館 社会教育嘱託員	4月～8月の第3土曜日(5回)	対面	小学生	各10人 (延べ50人)	延べ49人	参加者全員が楽しめた、また9割が自宅でもやりたいと回答があった。徳美問題なく、大きな課題はなかった。
	3 おもしろ理科実験	学校では習わない理科の実験教室。実験前にみんなが結果の仮説を立てて、なぜそう思うのか、議論し合う仮説実験事業	入澤真由美氏 (小学校理科教師、 中学校非常勤講師)	8月27日(日)	対面	小学4年～6年	15人	4人	参加者は、実験が面白かった、また参加したいと好評であった。夏休みの自由研究として設定したが、講師との日程調整で、時期が夏休み後半になってしまった。
	4 プログラミング	小学校で必修学科となったプログラミング。毎回人気の講座。小学校低学年でもできるプログラミングを開催。	特定非営利活動法人 パソコンボランティア 湘南 理事長 大木 伊都子氏	①8月29日(火) ②3月30日(土)	①対面・ZOOM ②対面	①小学3年以上 ②小学3年～6年と保護者	①10人 ②10組	①7人 ②未定	①プログラミングは楽しく、またやりたいという意見が多かった。ZOOMを使った講座であったが、ネットワークにトラブルがあった。事前のリハーサルの必要性を感じた。 ②3月30日実施予定
	5 海岸生物観察会	海の生き物の種類や生態を学び、自然に触れる楽しさを知ると同時に参加者同士交流を図る。	NPO法人パパラギ 「海と自然の教室」 小淵友美氏	7月19日(水)	対面	5歳以上のこどもと保護者	12組	2組	参加した2組については、海岸生物について学べてよかった。海洋ごみの問題を丁寧に教えてもらえたと好評であった。潮の関係で開催日を決定したが、夏休み前のため参加者が少なかったため開催時期の検討は必要。
	6 ウニらんたんを作ろう	ウニの種類や生態を学び、殻を利用して作品を完成させる達成感や楽しさを味わってもらう。	NPO法人パパラギ 「海と自然の教室」 亀山 祐孝氏	11月4日(土)	対面	小学生と保護者	10組20人	8組16人	ウニから見える環境問題について、説明があり、ランタン作りだけでなく、海洋の環境問題について
	7 可愛いキャンディ・ポーチを作っちゃおう!	小学生を対象に、可愛いをテーマにキャンディーオリジナルポーチなどを手作りする。	子ども向けワークショップ 「moonjelly23」 主宰川内尚美氏	7月29日(土)	対面	小学生	10人	10人	オリジナルのポーチやチャームを作り、手作りの楽しさを学んでもらえた。子どもの力ではやりにくい作業もあり、今後検討が必要。
	8 レッツ!トライ!ボランティア!!2023	小学校3年生～中学生を対象に子どもたちで話し合っ決めてテーマについて調査、研究し、その成果を公民館まつり等で発表し地域社会に還元する社会体験事業。	湘北地区の青少年を育てる会 代表 沼上純子 他4名	9月～3月の第3日曜日全7回	対面	小学3年～中学3年	10人	4人 (延べ33人)	子どもが自主的に課題(やりたいこと)を考えて、それを大人ボランティアがサポートする形で実施。それぞれがコミュニケーションをとり行っている。今年度は募集が遅れ参加人数が少なくなったため、事前の周知を行う。

カテゴリ	事業名	概要	講師	実施日時	手法	対象	定員	参加者	成果・課題
	9 プラスチックごみ講座(5館連携)	花王グループカスタマーマーケティング㈱との公民連携及び5館連携事業。健康、衛生等分野における課題解決にむけた講座。(鶴嶺公民館では対面、他4館はリモートにて同時開催)	花王カスタマーマーケティング(株)	8月5日(土)	対面・ZOOM	小学生	①本会場(鶴嶺)20人 ②サテライト会場各20人	①9名 ②12名	地球のために何ができるかをテーマにプラスチックごみについて学んだ。公民館5館をZOOMで繋いだ講座となり、一部ネットワーク環境の不具合が出たが、好評であった。
	10 ペットボトルでソーラーランタンを作ろう	環境のことを学びながら、楽しい工作教室を開催する「子ども環境教室」。	神奈川県地球温暖化防止活動推進センター環境アドバイザー 土谷 美智代氏	8月6日(日)	対面	小学生	20人	18人	ソーラーランタン作りを通して、温暖化について、学び、自分ができ10のこの項目を選んだ。低学年でも理解できる内容や飽きさせない工夫が必要。
2 家庭教育支援関連事業	11 乳幼児健康相談	健康増進課と共催。乳幼児の心身の健康と発達を支援し、母親の育児サポートを行う。	茅ヶ崎市健康増進課 保健師 栄養士	①4月20日(木) ②7月20日(木) ③10月19日(木) ④1月18日(木)	対面	乳幼児とその保護者	各10組	①1組 ②4組 ③4組 ④5組	専門職による個別指導を行い、乳幼児の心身健やかな成長と健康を確立し保護者に寄り添うサポートを行う。
	12 おちゃっぴとハロウィン粘土教室	カラフルで手にくっつきにくく、小さな子どもにも扱いやすい粘土を使いオリジナル粘土キャラクターを作る。	おちゃっぴさん(相川信也さん)粘土クリエーター	10月8日(日)	対面	3歳から小学生	20人	20人	自宅でもやりたいとのアンケート結果となり、粘土を使った作品作りの楽しさが、伝わった。今後もテーマを変え実施していきたい。
	13 親子贅沢味噌作り教室	通常の味噌作りより2倍量の糶を使った味噌作り。初心者にはわからない保存方法やカビ対処法等親子で楽しく学ぶ。	米の花店主 熊澤弘之氏	11月26日(日)	対面	小学生までの親子	8組	9組	発酵食品の有益を学ぶとともに、自ら作ることで、身近な食材である味噌についての認識を深めた。予約フォームの設定ミスで参加組が1組多くなった。募集に関して細心の注意を心掛ける。
	14 大人のピラティス(託児付き)	筋肉から全身のバランスをとる方法を知り、健康な体作りを目指し体を動かす楽しさを体感する。連続3回講座	竹内幸子(マットピラティスインストラクター・健康管理士・介護予防運動指導員)	①11月3日(金) ②11月10日(金) ③11月24日(金)	対面	概ね20代から40代の方	各日10人	19人	自身の筋力を知り、健康な体作りを体感してもらえた。託児を用意して、お母さんをメインターゲットとした。申し込みはすぐに埋まったが、当日のお子さんの体調不良などで参加率が低かった。回数を検討するなど、参加しやすいものとする。
	15 クリスマスリースを作ろう(託児付き)	自然をいかしたクリスマスリースを手作りする。子育て中の保護者を対象に、託児付きで行う。	岩田朱理さん(花と庭のお店「mukuri」オーナー)	12月1日(金)	対面	18歳以上	10人	12人	託児を設けることにより、子育て中の母親をメインターゲットとした。リース作りを通じ、交流の場となることを目的とした。
	16 かめさんのおうち	0歳～就学前までの子どもと保護者が自由に過ごせる憩いの場フリースペース。子育てに役立つ応急手当のミニ講座も実施。	香川公民館保育ボランティア 各回3名	5月～3月の第3木曜日 全11回	対面	就学前の子どもと保護者	各回40名まで	子ども延べ99人 保護者延べ116人	保育ボランティアさん主導で紙芝居など新しい試みも始まり、常連の親子が増えた。活発な交流の場となっていることもあり、育児サークルの立ち上げに期待したい。
	17 保育園のびのび広場	乳幼児と保護者を対象に保育士と一緒に歌ったり、体操して遊ぶ。親同士の交流や保育士さんへの悩み相談もあり。	茅ヶ崎市立鶴が台保育園、香川保育園	5月～2月(8月除く)の第2水曜日 全9回	対面	乳幼児と保護者	各回10組(全90組)	延べ69組	保護者も子どもも楽しめコミュニケーションも深まるメニューも多く提供し交流を深められた。初参加の子どもへの対応が課題。

カテゴリー	事業名	概要	講師	実施日時	手法	対象	定員	参加者	成果・課題	
3 シニア事業	18	はじめての麻雀教室（初心者コース）	麻雀は指先、脳を使うので、老後の痴呆防止対策として有効である。初心者中心に座学と簡単なゲームを実施。	香川公民館 社会教育嘱託員	4月～9月の第2、4土曜日全12回	対面	60歳以上	各回8名 96名	89名	麻雀は、判断力、推理力、指先等を使い、脳の活性化に効果があるとされている。シニア世代の交流の場や出かけるきっかけとなる事業となった。
	19	はじめての麻雀教室（中級者コース）	最低限の麻雀のルール、マナーを知っている人を対象に、実践しながら、役作り、点数計算を学ぶ。	香川公民館 社会教育嘱託員	①4月～8月 ②9月～3月 第1、3木曜日全10回	対面	麻雀のルールとマナーを理解している60歳以上	①② 各回8人 160人	①78人 ②77人	初心者コースから1歩進んだ経験者のコースとした。初心者コースと同じく、シニア世代の交流の場となる事業となった。
	20	フレイル&頻尿予防教室（花王5館連携）	花王グループカスタマーマーケティング㈱との公民連携及び5館連携事業。健康、衛生等分野における課題解決にむけた講座。（南湖公民館では対面、他4館はリモートにて同時開催）	花王カスタマーマーケティング（株）	3月22日	対面・ZOOM	一般	①本会場（南湖）20人 ②サテライト会場（4館）各20人	①12人 ②49人	健康と病気の間の状態フレイルを予防して、健康に過ごすこと、そのために外に出ることは有効であることを学んだ。年齢が上がるにつれ、頻尿がでて、外出を控えるようになることがあるため、その対策を合わせて学んだ。
	21	おとなのパステルアート	パステルアートはリラクゼーション効果があり、右脳と左脳を同時に使うことで、脳が活性化するとされている。	香川公民館 社会教育嘱託員	11月～3月の第1土曜日 全5回	対面	一般	各回10人 50人	50人	パステルアートは、リラクゼーションの効果があると言われており、単に作品を制作するだけでなく、癒しと交流の場として行った。参加者にリピーターが多く、新規の参加者の取り組みが課題となる。
	22	簡単！きれい好印象メイク講座	花王グループカスタマーマーケティング㈱との公民連携事業。メイク講座は年齢や時代・流行に左右されず、誰にも似てない、その人だけの輝きを引き出す講座。	花王カスタマーマーケティング（株）	12月3日（日）	対面	60歳以上	20人	18人	メイクは五感を刺激し、認知機能の低下抑制に効果があると言われている。参加者も普段と違うメイク方法を学べて満足していた。
	23	シニアのための保健体育	高齢者の健康づくりと交流、高齢者支援リーダーの活躍の場。	佐藤節子氏、若林三枝子氏、佐藤みち子氏	5月～3月の第2もしくは第3火曜日全11回	対面	60歳以上	各回20人 220人	205人	70歳代の女性を中心にリピーターとして参加する方が多かった。各々の体調に合わせて負荷量を調整できるよう毎回内容を工夫し、運動機能を高めるとともに交流の場にもなった。
	24	口腔ケア講座（5館連携）	花王グループカスタマーマーケティング㈱との公民連携及び5館連携事業。健康、衛生等分野における課題解決にむけた講座。（松林公民館では対面、他4館はリモートにて同時開催）	花王カスタマーマーケティング（株）	5月10日（水）	対面・ZOOM	一般・シニア	①本会場（松林）30人 ②サテライト会場（4館）42人	①14人 ②18人	正しい歯磨き、口腔ケアを学ぶ、参加者の関心は高く、満足のいく講座となった。関心の高い内容となるので、集客方法を検討する必要がある。
	25	ZOOMの使い方講座	シニア世代のオンライン講座デビューの促進を目的とした基礎編及び応用編の講座。	香川公民館 社会教育嘱託員	11月29日（水） 30日（木）2日間	対面	シニア	4人	1人	ZOOMを活用し、学びの機会の創出、新たな交流のきっかけづくりを目標として実施した。基礎と応用を2日間で行ったが、基礎のみで、活用ができるため、講座の日数を短縮するか検討が必要。
26	スマホ入門講座	シニア世代のスマートフォンの使い方を支援	（株）CONEXIO	①11月14日（火） ②11月21日（火）	対面	シニア	①8人 ②8人	①7人 ②8人	総務省デジタル活用支援事業として実施。スマートフォンを普段活用していないシニア対象に事業を行った。	

カテゴリー	事業名	概要	講師	実施日時	手法	対象	定員	参加者	成果・課題	
4 博物館連携事業	27 考古学入門 古代人の装飾品「まが玉作り」	夏休み（春秋冬休み）小学生を対象に古代の生活や文化への興味を深めるきっかけとして、古代装飾品のまが玉を作る。	横浜市八聖殿郷土資料館 館長 相澤竜次氏	8月22日（火）	対面	小学生親子	12組	11組	勾玉作りを通して、古代人の生活を学んだ。作品は茅ヶ崎市博物館に展示後、参加者へ返却した。	
5 地域課題解決等事業	28 手づくり布ぞうり	古い浴衣を使って布ぞうりを作る。自分たちの学びを地域に還元できる事業方向とする。	ラ・トワール（布ぞうり講師団体）	2月18日（日） ・25日（日）	対面	小学5年生以上	15人	14人	日本文化の継承、交流の場として、リサイクル意識の向上となった。2日間の講習のため、参加を断った方もいた。講習の日数は検討の余地がある。	
	29 初めての絵手紙教室	野菜や花などの身近な題材で飾らない絵と言葉で真心を伝えられる絵手紙の講座。	日本絵手紙協会 藤林 昭子	5月19日	対面	一般	12人	8人	絵手紙は、モチーフと言葉で伝えるものがあり、絵心がなくても楽しめる。参加者は、サークルがあれば入りたいと一定以上の関心を示した。	
	30	(春)ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図る。	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会	6月2日（金）	対面	一般	15人	14人	茅ヶ崎に対するふるさと意識の向上として、松下政経塾、なぎさギャラリー、潮見台を散策した。雨天となったが、延期が難しく実施したが、参加者の体調等考慮して中止の判断も必要だった。	
	31	かがわ健康ウォーク	(秋)ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図る。	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会	11月6日（金） ・13日（金）	対面	2日間参加できる一般	15人	14人	茅ヶ崎に対するふるさと意識の向上として、南湖の文化人の軌跡をたどるルートを散策した。
	32		(番外編 水彩スケッチ) ウォーキング番外編として、スケッチしながらウォークを楽しむ。同じ目的を持った仲間づくりの場とする。	小林幸信氏	11月9日（木） ・11日（土）	対面	一般	15人	9日13人 11日12人	長井海の手公園 ソレイユの丘にてスケッチポイントを探し歩きスケッチの実践をする。また、現地にて仕上がった作品の品評会を行った。参加者は機会があればまたスケッチをしたいと好評であった。
	33	日本の年越し しめ飾りづくり	年越し行事のしめ飾りづくりを体験し地域交流を図る。	三澤務氏、三澤錦子氏、小島賢造氏、井上幸雄氏、南上弘志氏、森俊彦氏、田中京子氏	12月10日（日） 9日（土）任意	対面	中学生以上	20人	20人	地域住民を対象（特に若い世代）に伝承文化の1つであるしめ飾り作りを通じて、伝統行事や日本文化の継承と世代間交流を目的とする。
	34	かがわサロン「山寺で座禅体験」	[かがわサロン]と題し色々なテーマを通して、地域の活性化を図る目的で開催する。交流の場、生きがいつくり、仲間づくり、世代間交流など、健康で積極的な社会活動を推進すると同時に公民館の役割と社会教育活動に興味をもってもらう。	大雄山最乗寺 僧侶	11月17日（金）	対面	一般	15人	15人	座禅体験を通して内面の平静と成長の促進を促し、心の健康維持の手段を知り、同時に同じ地域で暮らす人たちが出会い、学ぶ場を提供することができた

カテゴリー	事業名	概要	講師	実施日時	手法	対象	定員	参加者	成果・課題
35	応急手当WEB講習対応実技救命講習会	茅ヶ崎消防と共催。救急車が到着するまでの救命処置や応急手当等を身につける。	茅ヶ崎消防消防指導課職員 救命救急普及員	11月25日(土)	対面	中学生以上	15人	3人	普通救命講習の座学(60分)をインターネット(eラーニング)で受講した後の実技講習会。心肺蘇生法、AED使用方法の実技を学ぶ。止血法、回復体位、異物除去法の手技については、レクチャーのみとする。参加者みな終了証を受け取った。
36	夏休み学習室開放	空いている部屋を宿題や勉強の場として提供する。	—	7月20日～8月30日の31日間 (夏休み期間で予約の入っていない日)	対面	小学生から大学生	550人	22人	夏休み期間を利用した学習室開放として、空き室の開放を行った。利用者は22人と少ないが、子どもの居場所づくりとして、事業は継続予定。利用者の増加のため周知方法等の改善を行う。
37	くらしの中の血流改善講座(5館連携)	花王グループカスタマーマーケティング㈱との公民連携及び5館連携事業。健康、衛生等分野における課題解決にむけた講座。(香川公民館では対面、他4館はリモートにて同時開催)	花王カスタマーマーケティング(株)	2月8日(木)	対面・ZOOM	一般	①本会場(香川)20人 ②サテライト会場(4館)80人	①20人 ②40人	血流が睡眠や健康に大きく影響すること、その改善方法を学んだ。ネットワークの不具合で、サテライト会場のZOOMが繋がりにくい状況があった。予備機を使用するなど本会場と同じ状況を出せるようにする。
38	暮らしのきれい講座(5館連携)	花王グループカスタマーマーケティング㈱との公民連携及び5館連携事業。健康、衛生等分野における課題解決にむけた講座。(小和田公民館では対面、他4館はリモートにて同時開催)	花王カスタマーマーケティング(株)	4月27日(木)	対面・ZOOM	一般	①本会場(小和田)30人 ②サテライト会場(4館)72人	①28人 ②23人	日常の清掃やコツなどを学び、普段の掃除に活かす講座となった。
39	卓球開放	小学生以上を対象に体力向上と仲間づくり。	—	4月～3月の第2金曜日 (9月3日は休止)	対面	小学生以上	135人	85人	地域の仲間づくり、大人と子供の交流をはかり、コミュニケーション促進につなげる。継続して開催することによって、交流・健康づくりの場を定着させる。
40	庭木の剪定教室	庭木剪定の基礎的な技術を公民館の敷地内の庭木を題材に実地指導と並行して学ぶ。	赤木 洋行氏(造園施工管理技術師、元日本大学生物資源科学部講師)	6月4日(日)	対面	一般	14人	13人	庭木の剪定の基礎を学んだ。講習内容を理解し、今後剪定できるとアンケートで回答があった。
41	パーソナルカラー講座	春夏秋冬のパーソナルカラーを学び、セルフチェックをしながら自分に似合うカラーグループを見つける。	カラーコンサルタント 有山 豊美氏	10月21日(土)	対面	一般	10人	9人	自分の魅力を輝かせてくれる似合う色を見つけることで、気分があがり、前向きに行動するきっかけを作る。また、自分のパーソナルカラーを見つけて、服装を楽しめる様になり、認知症等を予防する。講習後は、自分に合うカラーを認識できた参加者が多数いた。

カテゴリ	事業名	概要	講師	実施日時	手法	対象	定員	参加者	成果・課題
42	現役世代のがん防災	2人に1人ががんになる時代。いざがんを告知されたとき慌てないためにも事前になんについて学ぶ。	一般社団法人 がん と働く応援団 武田 亮子 協力者：野北 まどか	11月12日（日）	対面・ ZOOM	現役世代 (20代～ 50代)、 がん罹患 者やその 家族	20人	19人	がんについての正しい知識を身に着けることにより、必要以上の恐れないことを学んだ。また、がんと告知された時の対応について学び理解した。
43	子どもの靴の選び方(託児付)	成長期の子どもの靴選びは、筋肉や骨にも影響するほど重要。正しい靴選びについて学んでもらう。	マスターオブシュー フィッター 宮崎 重行氏	2月3日（土）	対面	未就学児から小学生の保護者	15人	5人	成長期の子どものこととして、靴選びの重要性を理解し、今後の購入の際の参考となった。参加人数が少なく、広報等の方法を検討する必要がある。
44	保育ボランティア向け普通救命講座	公民館主催事業で託児付きの講座がある場合など、講座中に子どもの身に急変が起きたとき、ボランティアとして救急車が到着するまでの5～9分間に備えて、傷病者の命を救うための対応ができるように心肺蘇生法（成人、小児、乳児）、AEDの使用法、止血法、異物除去法、傷病者管理法、搬送法を学ぶ。	茅ヶ崎市消防職員	8月31日（木）	対面	市内5公民館で、託児ボランティアとして登録している方	15人	9人	心肺蘇生法（成人、小児、乳児）、AEDの使用法、止血法、異物除去法、傷病者管理法、搬送法を学び、参加者全員が修了書の取得ができた。
45	初めての己書講座	自分だけの書、己書（おのれしょ）を学ぶ。こう書かなければならないというルールはなく、自由に筆を走らせ自分の世界観を表現してもらう。	大山郁香 心温（ほんわか）己書道場主催	11月5日（日）	対面	一般	20人	20人	基本的な筆運びを学び、手本を見ながら練習し、ある程度慣れてきたらアレンジを加えて、自分なりの書き方を習得する。日常の手紙、年賀状を己書で作成したいとする参加者が多くいた。
46	神奈川の重要文化財と歴史探訪	学芸員の解説を聴きながら、名勝三溪園の庭園と桜、歴史的建造物を見学する。	三溪園学芸員	3月27日（水） 予定	対面	一般	10人	—	実施予定
47	一眼レフカメラ教室	一眼レフカメラあるいはミラーレスカメラのマニュアルモードを学び、撮影の実践を通して作品の完成度を高める。	香川公民館 社会教育嘱託員	①6月（全4回） ②11月（全5回） ③2月（中止）	対面	一般 一眼レンズ等のカメラを所有している方	5人	①5人 ②5人 ③中止	各講座、座学後に撮影会を行い、編集した。参加者の技術等の向上を目指し、一定の成果が出た。2月の講座については、講師となる職員がけがをしたため中止となった。
48	本格キムチを漬けよう！	自宅ではなかなか漬けることがないキムチ。本場韓国の漬け方を知り、韓国の食生活などについても学ぶ。	李 順蘭（イ・スンラン 韓国語教師）	1月18日（木）	対面	一般	12人	12人	生活習慣を見直し腸活を推し進める方法として、なぜ発酵食品が良いのかを座学で学び、添加物を加えないキムチを作った。講座後は、自宅でも作る、という参加者が多数いた。本格キムチは各家庭で異なる作り方をするためレシビがなかったため、基本的なものはあってもよかった。
49	～糰職人に学ぶ「発酵の世界」～ 醤油糰・塩糰・玉ねぎ糰を作ろう	健康のために腸活をすすめる一環として、発酵食を学ぶ。生糰をつかった塩糰や醤油糰の作り方と保存方法などを学ぶ。	米の花店主 熊澤弘之氏	10月29日（日）	対面	一般	10人	10人	発酵食品が健康に及ぼす影響について座学で学び、発酵調味料となる醤油糰・塩糰・玉ねぎ糰の作り方を学んだ。発酵食品を使った料理を積極的に取り入れるとアンケートの回答で多くあった。

カテゴリ	事業名	概要	講師	実施日時	手法	対象	定員	参加者	成果・課題
	50 ゆかりのまち歴史クロストーク	ゆかりのまち提携40周年にちなんで、岡崎市と本市とのオンラインによる講座を通じて交流を図る。	岡崎市社会教育課職員 茅ヶ崎市ゆかりの人物館学芸員	12月17日(日)	ZOOM	一般	40人	3人	岡崎市と公民館5館でそれぞれの市の歴史について講座を行った。参加者は岡崎市の歴史だけでなく、茅ヶ崎市の歴史も生部ことができた。
6 学習成果活用・学習情報提供事業	51 公民館だより「かがわ」	四半期ごとの公民館主催事業をPR。							2回発行(10月1日、1月1日発行)
	52 第33回公民館まつり	公民館まつり実行員会を中心にサークル活動の発表や展示、バザー、模擬店等2日間にわたって開催するイベント。		3月9日(土)・10日(日)					コロナ前と同様の形での開催となった。バザー一部(模擬店)を復活させ、飲食を再開した。昨年以上の来場者があり、今後も改善をしつつ開催をしていきたい。
	53 夏休み自由広場	公民館利用サークルの活動を小・中学生が体験する。		7月20日～8月25日 夏休み期間					公民館で活動している団体・サークルが小中学生を受け入れて体験を行う。コロナ禍で中止縮小していたが、今年度は制限を設けずに実施した。参加団体、参加者ともコロナ前より少なくなっているため、その充実が課題となる。
7 公民館利用者活動支援事業	54 公民館利用者説明会	公民館の役と利用方法についての説明	対面	①5月20日(土) ②11月21日(火)					利用者懇談会全体会での公民館利用方法について、説明を行った。
8 次世代育成ネットワーク事業	55 中学生職場体験	地域の中学生に公民館の仕事について知ってもらい、公民館への理解を深める。		11月22日(水)					鶴が台中学2年4名の生徒がや館内装飾、備品の在庫管理を行った。また、主催事業の企画案を作成してもらい、説明と館職員からの講評を行った。公民館の業務内容を知っていただくよい機会となった。
	56 小学生公民館見学	近隣小学校の総合的学習の時間に協力し、子どもたちに公民館を知ってもらい利用促進につなげる。		①5月9日(火) ②9月27日(水) ③10月17日(火)					①②は小学校3年生の学区探検として、香川小学校と鶴が台小学校の3年生が来館した。③は、職業インタビューとして香川小学校の2年生が来館した。
9 公民館運営審議会等	57 公民館運営審議会	年2回調査・研究・審議を行う。	対面	①7月13日(木) ②3月27日(水) 予定					
	58 公民館運営審議会委員連絡協議会	5公民館の審議会委員で構成する連絡協議会	書面	書面会議					
	59 館長公民館運営審議会委員等研修会	県公民館連絡協議会主催の研修会に公運審委員が参加	対面	11月10日(金)					